

金賞

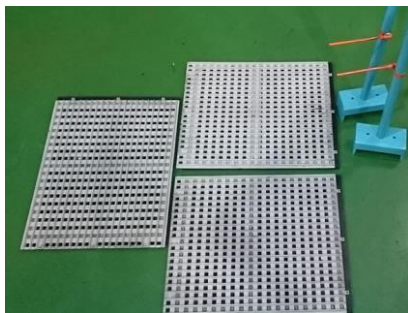
タイヤ「楽楽」脱着パネル

[神奈川県支部] トヨタエルアンドエフ神奈川株式会社 サービス部
成田 照彦

【考案の動機】

現在フォークリフトタイヤの当社掌握機台の半分以上がノーパンクタイヤ車となっていて、脱着作業が腰への大きな負担となる事を懸念していました。ハンドパレットのような大きなものでなく各スパンに置けるようなコンパクトなものを考えていました。

【考案の内容】



1 スパン利用分：μデッキパネル×3、ゴムマット×3

※このパネルの特徴である低摩擦を活かして
低摩擦部分を合わせて使用することでより摩擦抵抗
を抑えます。

※ゴムマットを使用することでパネル強度のアップと
タイヤ接地面のグリップ性を高めました。

※パネルは荷重150kg迄 1/10の力で動かせます。

① タイヤの取外し

タイヤの真下へパネルを敷きパネルに軽く接地するまでリフトを操作する
(パネルは2枚を滑走用に1枚を運搬用にセットする)
ナットを外しタイヤのフリー度を確認する
※必要に応じて機台前方よりリフトを操作する



②

そのまま引出すだけです
タイヤの引出し幅を考慮して2枚パネルを敷いてあるので
フェンダーより外に出した時点でタイヤの一時置場まで簡単に
移動できます



③ タイヤ取付前準備

タイヤをパネルの上に載せた状態でホイールのセンターをセットします
これは二柱リフトの操作注意事項上の安全作業の確保の為です



④ タイヤの取付

センターをセットした目印棒を機台横に置きアクスルシャフトの中心を
合わせるように二柱リフトを操作する



⑤

リフト操作を止めて横からボルト穴を確認する
※必要に応じて機台前方よりリフトを操作する



⑥

そのままタイヤをパネルごと滑らせて完了
タイヤがパネルに接地しているのでナットの取付も容易に出来ます



【考案の効果】

1) 大きく重いタイヤを脱着する際に特に効果があります。

センターの取りづらい(取付け時にアクスルシャフトのでっぱりホイールが掛
からない)機台は下がパネルに接地している為、取付けが容易になった。

タイヤサイズ 300-15 (120kg) でも脱着時に殆ど力作業はありません。